

## 平成22年度学会発表・講演等一覧

### [企画部]

- ◇第39回国土地理院報告会 平成22年6月2日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
  - ・国土地理院の主な地理空間情報関連施策：下山泰志
- ◇2010 AGU Fall Meeting (2010年米国地球物理学会秋季大会) 平成22年12月13日～17日 モスコーンセンター（米国・サンフランシスコ）
  - ・Fault geometry and slip distribution of the 1891 Nobi great earthquake (M=8.0) with the oldest survey data sets in Japan (日本最古の測地データから推定した、1891年濃尾地震 (M=8.0) の震源断層形状とすべり分布)：高野和友・木股文昭（名古屋大学）

### [測地部]

- ◇第39回国土地理院報告会 平成22年6月2日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
  - ・地理空間情報活用のための新たな位置情報基盤：高橋保博
- ◇平成22年度国土交通省国土技術研究会 平成22年10月28～29日 国土交通省(中央合同庁舎2号館)（東京都千代田区）
  - ・干渉SARを活用した効率的な地盤沈下監視の実施へ向けた取り組み：鈴木啓・森下遊・雨貝知美・唐沢正夫
  - ・場所情報コードの共通化：檜山洋平
- ◇日本測地学会第114回講演会 平成22年11月8日～10日 京都大学宇治キャンパスおうばくプラザきはだホール（京都府宇治市）
  - ・「だいち」SAR干渉解析による豊後水道周辺の非定常地殻変動抽出の試み：野口優子・鈴木啓・矢来博司（測地観測センター）・飛田幹男（地理地殻活動研修センター）・小林知勝（地理地殻活動研修センター）
  - ・VLBI観測データのグローバル解析：小門研亮・農澤健太郎（(株)エイ・イー・エス）
  - ・Ultra-rapid実験におけるdUT1解の即時導出：川畑亮二・小門研亮・栗原忍・農澤健太郎（(株)エイ・イー・エス）
  - ・GPS測量および水準測量結果が示唆する草津白根山の収縮減：平岡喜文・三森庸里江・横川正憲・根本盛行
- ◇2010年度VLBI懇談会シンポジウム 平成22年12月1～3日 筑波大学宇宙科学教育研究センター宇宙電波館（茨城県高萩市）
  - ・VLBI2010の国土地理院の対応：石原操・黒田次郎・栗原忍・小門研亮・川畑亮二
  - ・国土地理院機関報告：黒田次郎・石原操・栗原忍・小門研亮・川畑亮二
  - ・国際VLBI事業(IVS)第24回評議会報告：栗原忍・石原操・黒田次郎・小門研亮・川畑亮二
  - ・VLBI観測データのグローバル解析：小門研亮・石原操・黒田次郎・栗原忍・川畑亮二
  - ・Ultra-rapid実験におけるdUT1解の即時導出：川畑亮二・石原操・黒田次郎・栗原忍・小門研亮
- ◇第30回極域地学シンポジウム 平成22年12月2～3日 国立極地研究所2階大会議室(東京都立川市)

- ・可搬型絶対重力計 FG5 による南極における重力測定：菅原安宏
  - ・ラングホブデ GPS 固定点による露岩域変動測定：菅原安宏・高畑嘉之・岡村盛司
- ◇京都大学防災研究所 共同利用 一般研究集会 平成23年2月24～25日 京都大学宇治キャンパス(京都府宇治市)
- ・磁気図 2010.0 年値の作成：阿部聡・植田勲・高橋信雄・川原敏雄・田上節雄・石倉信広(東北地方測量部)

[測図部]

- ◇第 39 回国土地理院報告会 平成 22 年 6 月 2 日 新宿明治安田生命ホール(東京都新宿区)
- ・測量用航空機「くにかぜⅢ」の概要と役割：林孝
  - ・高度な画像処理による減災を目指した国土の監視技術の開発：大野裕幸

[地理調査部]

- ◇日本地球惑星科学連合 2010 年大会 平成 22 年 5 月 23 日～28 日 幕張メッセ国際会議場(千葉県千葉市)
- ・平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震 1 : 25,000 詳細活断層図(活断層・地形分類及び地形の変状)について：星野実・中田高(広島工業大学)・石山達也(東北大学)・今泉俊文(東北大学)・岡田篤正(立命館大学)・鈴木康弘(名古屋大学)・堤浩之(京都大学)・八木浩司(山形大学)・渡辺満久(東洋大学)・鈴木義宜・田中庸夫(関東地方測量部)・岩橋純子・高橋広典(測図部)・吉武勝宏
  - ・Visualization of Environment and Human Activities by Global Map(地球地図による自然環境と人間活動の視覚化)：岸本紀子・中村孝之・乙井康成(地理地殻活動研究センター)・高橋英尚・大宮清一(地理地殻活動研究センター)・小島脩平
  - ・数値地図 50mメッシュ(標高)を用いた Vs30 マップの作成：岩橋純子・神谷泉(地理地殻活動研究センター)・松岡昌志(産業技術総合研究所)
  - ・「日本の活断層百選」活動の紹介：吾妻崇(産総研活断層・地震研究センター)・太田陽子(台湾大学)・岡田篤正(立命館大学)・桂雄三(文化庁)・正野英憲(日本工営)・田近淳(道立地質研究所)・豊蔵勇(ジオ・とよくら)・中田高(広島工業大学)・原田明夫(東京国立博物館)・星野実・細矢卓志(中央開発)・松田時彦(地震予知振興会)・向山栄(国際航業)

[地理空間情報部]

- ◇平成 22 年度(社)日本地すべり学会総会およびシンポジウム 平成 22 年 5 月 14 日 学術総合センター(東京都千代田区)
- ・SAR 干渉画像を用いた地すべり地表変動の検出について—山形県月山周辺を事例として—：佐藤浩
- ◇日本写真測量学会平成 22 年度年次学術講演会 平成 22 年 5 月 17 日～18 日 東京大学生産技術研究所(東京都目黒区)
- ・災害情報収集・伝達システムの開発：佐藤壮紀・橘悠希子・吉田健一・飯田洋

- ・ネパール西部の地震による斜面崩壊危険性の検討：佐藤浩・八木浩司（山形大学）
- ◇日本地球惑星科学連合2010年度発表大会 平成22年5月23日～28日 幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）
  - ・大縮尺地理空間情報の水平位置正確度の評価の結果：村上真幸
  - ・基盤地図情報の更新と地方公共団体における地図整備の連携について：北村京子
  - ・地理空間情報プラットフォームによる行政情報の共有：橘悠希子
- ◇平成22年度（社）日本地すべり学会関東支部シンポジウム 平成22年6月18日 東京大学武田先端知ホール（東京都文京区）
  - ・SAR干渉画像と航空レーザ測量データを利用した地表変動の検出：佐藤浩
- ◇日本写真測量学会平成22年度秋季学術講演会 平成22年10月14日 サン・リフレ函館（北海道函館市）
  - ・地方公共団体の口蹄疫防疫対策における電子国土Webシステムの利用：佐藤浩・笹川啓・村上真幸
- ◇地理情報システム学会第19回研究発表大会 平成22年10月24日 立命館大学衣笠キャンパス（京都府京都市）
  - ・地理空間情報の水平位置座標の誤差要因分析：村上真幸
  - ・災害情報収集・伝達システム：佐藤壮紀・吉田健一

[測地観測センター]

- ◇北太平洋地域地震火山噴火防災のための研究推進に関する国際ワークショップ 平成22年5月10日～12日 北海道大学学術交流会館（札幌市）
  - ・Earthquake and volcano monitoring by GPS and InSAR in Japan and its vicinity（日本および周辺域におけるGPSおよびInSARによる火山および地震モニタリング）：矢来博司
- ◇第39回国土地理院報告会 平成22年6月2日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
  - ・準天頂衛星「みちびき」による高精度測位補正技術：矢来博司
- ◇日本地球惑星科学連合2010年大会 平成22年5月23～28日 幕張メッセ国際会議場（千葉市美浜区）
  - ・測地連続観測に関する諸検討 ―GEONET、験潮場、地殻活動観測場―：辻宏道・宮川康平・矢来博司・山口和典・齊藤隆
- ◇日本地球惑星科学連合2010年大会 平成22年5月23～28日 幕張メッセ国際会議場（千葉市美浜区）
  - ・電子基準点のGPS近代化計画への対応：野口優子（測地部）・豊福隆史（大臣官房技術調査課）・古屋智秋
- ◇日本地震学会2010年秋季大会 平成22年10月27～29日 広島国際会議場（広島市）
  - ・日向灘で繰り返し発生するスロースリップイベント：矢来博司・小沢慎三郎（地理地殻活動研究センター）
- ◇測位航法学会GPS/GNSSシンポジウム2010 平成22年11月6日 東京海洋大学（東京都江東区）
  - ・マルチGNSS測量の実用化に向けて：辻宏道・矢来博司・豊田友夫・矢萩智裕・畑中雄樹（地理地殻活動研究センター）

- ◇測位航法学会 GPS/GNSS シンポジウム 2010 平成 22 年 11 月 6 日 東京海洋大学 (東京都江東区)
  - ・準天頂衛星の LEX 信号による測位補正情報を用いた測位技術の開発：矢萩智裕
- ◇日本測地学会第 114 回講演会 平成 22 年 11 月 9 日 京都大学宇治おうぼくプラザ (京都府宇治市)
  - ・マルチ GNSS 測量の可能性と課題：辻宏道・矢来博司・豊田友夫・矢萩智裕・畑中雄樹 (地理地殻活動研究センター)
- ◇日本測量調査技術協会講演 平成 22 年 11 月 17 日 日本測量調査技術協会会議室 (東京都新宿区)
  - ・準天頂衛星の LEX 信号による測位補正情報を用いた測位技術の開発：矢萩智裕
- ◇第 54 回宇宙科学技術連合講演会 平成 22 年 11 月 17～19 日 静岡県コンベンションアーツセンター (静岡県静岡市駿河区)
  - ・準天頂衛星からの高精度測位補正情報による精密測量の技術実証実験について：矢萩智裕
- ◇第 2 回 GNSS アジアオセアニア地域ワークショップ 平成 22 年 11 月 21～22 日 ロイヤルメルボルン工科大学 (オーストラリア・メルボルン市)
  - ・GSI' s contribution to the multi-GNSS demonstration campaign in the Asia Oceania Region (アジアオセアニア地域におけるマルチ GNSS デモンストレーションキャンペーンにおける国土地理院の貢献)：矢萩智裕
- ◇日露隣接地域の火山噴火観測に関する日露専門家会合 平成 22 年 11 月 25～26 日 ロシア科学アカデミー極東支部カムチャッカ火山地震研究所 (ロシア ペトロパブロフスク・カムチャツキー市)
  - ・Monitoring volcanoes in and around Japan using SAR interferometry (干渉 SAR による日本およびその周辺域の火山モニタリング)：矢来博司
- ◇第 29 回測量技術講演会 (近畿地方測量部) 平成 23 年 1 月 25 日 薬業年金会館 (大阪市)
  - ・準天頂衛星による測量向け補正技術の開発及びマルチ GNSS 測量への取り組み：矢来博司
- ◇北海道測量技術講演会 平成 23 年 1 月 27 日 札幌第 1 合同庁舎講堂 (札幌市)
  - ・準天頂衛星による測量向け補正技術の開発及びマルチ GNSS 測量への取り組み：矢来博司
- ◇「地震及び火山噴火予知のための観測研究計画」平成 22 年度成果報告シンポジウム 平成 23 年 3 月 4 日 東京大学本郷キャンパス (東京都文京区)
  - ・GPS 連続観測 (GEONET)・合成開口レーダー：矢来博司

[地理地殻活動研究センター]

- ◇日本写真測量学会 平成 22 年度年次学術講演会 平成 22 年 5 月 17 日～18 日 東京大学生産技術研究所 (東京都目黒区)
  - ・鉄穴流し跡地におけるレーザ植生図作成と地形解析：小荒井衛・中埜貴元・佐藤浩 (地理空間情報部)
  - ・原資料の違いによる盛土地形形状の差とそれが盛土脆弱性評価に与える影響：中埜貴元・小荒井衛
- ◇日本地球惑星科学連合 2010 年大会 平成 22 年 5 月 23 日～28 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
  - ・数値地図 50m メッシュ (標高) を用いた Vs30 マップの作成：岩橋純子 (地理調査部)・神谷泉・松岡昌志 (産業技術総合研究所)
  - ・水準測量結果にみられる年周変化の原因について：今給黎哲郎・根本盛行 (測地部)・瀬川秀樹 (企画部)・

平岡喜文（測地部）

- ・東海スロースリップ発生前と終息後の東海地方の地殻変動とすべり欠損：水藤尚・今給黎哲郎
  - ・テフラ GIS と地理空間情報を組み合わせた火山ハザード評価：小荒井衛・鈴木毅彦（首都大学東京）・中山大地（首都大学東京）
  - ・地形分類・地形発達に関連した地理空間情報を活用した早期災害想定の見直し：小荒井衛
  - ・2004-2009年間の伊豆大島のマグマ溜まりの体積変化：小沢慎三郎
  - ・国土地理院構内 GPS 連続観測局の上下成分みかけ安定性評価：宗包浩志・黒石裕樹・畑中雄樹・高島和宏・石本正芳
  - ・GPS/験潮観測による地殻上下変動と経年的潮位変化について一序報：黒石裕樹・宗包浩志
  - ・数値気象モデルによる測位誤差シミュレーション結果の整合性評価：石本正芳・宗包浩志
  - ・数値気象モデルを用いた SAR 干渉解析における大気中水蒸気起因の位相遅延量誤差の低減の試み：小林知勝・矢来博司（測地観測センター）・石本正芳・飛田幹男
  - ・地殻変動データによる 2009 年 12 月伊豆半島東方沖の群発地震の力源モデル：西村卓也・岩下知真子（測地観測センター）・今給黎哲郎
  - ・月の地形図に関するアンケート調査：神谷泉
  - ・InSAR における Phase Unwrapping：飛田幹男・小林知勝・矢来博司（測地観測センター）
  - ・「地盤脆弱性評価システム」の構築と有効性の検証：中埜貴元・小荒井衛
  - ・地球地図データを用いたネパール-パキスタン間のヒマラヤにおける地形と土地被覆の関係の解析：佐藤浩（地理空間情報部）・小荒井衛・岩橋純子（地理調査部）・中埜貴元
  - ・SAR 干渉画像を用いた七五三掛地区の 2.5 次元地すべり変動解析：佐藤浩（地理空間情報部）・鈴木啓（測地部）・関口辰夫（地理調査部）・雨貝知美（測地部）・小荒井衛
  - ・1944 年 12 月撮影空中写真による渥美半島中部の斜面崩壊判読：佐藤浩（地理空間情報部）・神谷泉・中埜貴元・小荒井衛・宇根寛（国土交通大学校）
  - ・ALOS/PALSAR で捉えられた 2010 年チリ地震に伴う地殻変動：小林知勝・飛田幹男
  - ・ALOS/PALSAR データにより検出された 2010 年ハイチ地震に伴う地殻変動と震源断層モデル：小林知勝・西村卓也・飛田幹男
- ◇第 39 回国土地理院報告会 平成 22 年 6 月 2 日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
- ・GEONET における高さ情報の高精度化に向けて：宗包浩志
- ◇第 13 回建設・環境マネジメント講演会 平成 22 年 6 月 18 日 山口大学(山口県宇部市)
- ・災害状況把握・地理情報取得へのリモートセンシングの活用：政春尋志
- ◇筑波大学 GIS 研究会 平成 22 年 6 月 24 日 筑波大学（茨城県つくば市）
- ・高分解能リモートセンシング技術を使った災害状況把握：小荒井衛
  - ・航空機及び衛星 SAR を用いた数値標高モデルの抽出技術の開発：岡谷隆基
- ◇公開ワークショップ「生物多様性とリモートセンシング技術」 平成 22 年 6 月 25 日 財団法人リモート・センシング技術センター（東京都港区）
- ・「リモートセンシングが生物多様性を守る」のパネルディスカッション：小荒井衛

- ◇あいち防災リーダー会 平成 22 年 7 月 2 日 国土地理院地図と測量の科学館(茨城県つくば市)
  - ・地震と地殻変動について：水藤尚
- ◇International Geographical Union The Israeli National Committee for Geography (国際地理学連合イスラエル大会) 平成 22 年 7 月 12 日～16 日 The Dan Panorama Hotel (イスラエル国テル・アビブ・ヤッフォ市)
  - ・Landscape-Ecological Map using LiDAR Survey Data for Biodiversity Evaluation of Satoyama Region (里山地域の生物多様性評価のための航空レーザデータを使った景観生態学図)：小荒井衛・中埜貴元・佐藤浩(地理空間情報部)・長澤良太(鳥取大)・日置佳之(鳥取大)
  - ・Application of Geo-spatial Information for Disaster Prevention (防災のための地理空間情報の応用)：小荒井衛
- ◇第 26 回つくば火山学セミナー 平成 22 年 7 月 23 日 産総研第七事業所 国際セミナー室(茨城県つくば市)
  - ・地殻変動から推定した桜島のマグマ溜まりの体積変化：小沢慎三郎
- ◇東京大学地震研究所共同利用研究集会「地殻ダイナミクスの総合的理解：地球物理学と物質科学の知見の総合」 平成 22 年 7 月 24 日～25 日 東京大学地震研究所(東京都文京区)
  - ・測地観測から見た活褶曲の成長と中越地域の地殻変動について：西村卓也
- ◇国際写真測量学会第 8 技術部会シンポジウム 平成 22 年 8 月 9 日～12 日 京都国際会議場(京都府京都市)
  - ・Landscape-ecological mapping using LIDAR data for biodiversity evaluation (生物多様性評価のための航空レーザを使った景観生態学図の作成)：小荒井衛・中埜貴元・佐藤浩(地理空間情報部)・吉田剛司(酪農学園大)・山下亜紀郎(酪農学園大)・長澤良太(鳥取大)・日置佳之(鳥取大)
- ◇日本国際地図学会平成 22 年度定期大会 平成 22 年 8 月 19 日～20 日 日本大学文理学部(東京都世田谷区)
  - ・つくば市内の時空間データセットの試作と任意時間断面の描画：小荒井衛・中埜貴元
- ◇平成 22 年度東大地震研究所共同利用(課題番号 2010-W-07) 研究集会「地震・火山活動と関連する災害のリモートセンシング」 平成 22 年 9 月 7 日～9 日 東京大学地震研究所(東京都文京区)
  - ・PALSAR 干渉画像による 2010 年青海省の地震に伴う地殻変動：飛田幹男・西村 卓也・小林知勝
  - ・災害状況判読に必要な衛星画像の分解能と実体視との関係：小荒井衛・神谷泉
- ◇火山学会秋季大会 平成 22 年 10 月 9 日～11 日 京都大学(京都府京都市)
  - ・小笠原硫黄島の火山活動と隆起活動：今給黎哲郎・小荒井衛・中埜貴元・大井信三(総務部)・矢来博司(測観測センター)・佐藤浩(地理空間情報部)・佐々木圭一(金沢学院大学)
- ◇REFAG2010(地球科学における応用のための基準系に関する IAG 第 1 委員会シンポジウム) 平成 22 年 10 月 4 日～8 日 ENSG(国立地理科学学校) (フランス共和国マルヌラヴァレ市)
  - ・Effects of astronomic tides and ocean tidal loading on leveling over long distance: test study for Japan (長距離の水準測量における天文潮汐と海洋潮汐荷重の影響—日本の事例)：黒石裕樹
  - ・Comparison of latest global and local gravimetric geoid models with GPS/leveling geoidal

undulations over Japan (全球および日本の重力ジオイド・モデルと GPS/水準ジオイド高との比較) :  
黒石裕樹

◇平成 22 年度秋季学術講演会 平成 22 年 10 月 14 日～15 日 サン・リフレ函館 (北海道函館市)

- ・ALOS/PALSAR 干渉画像による地すべり抽出の可能性について: 岡谷隆基・佐藤浩(地理空間情報部)・鈴木啓(測地部)・関口辰夫(地理調査部)・小荒井衛・中埜貴元
- ・1944 年東南海地震の津波被害を捉えた米軍空中写真のオルソ化と鳥瞰図作成: 中埜貴元・神谷泉・宇根寛(国土交通大学校)

◇8th Joint Meeting of UJNR Panel on Earthquake Research (第 8 回 UJNR 地震調査専門部会) 平成 22 年 10 月 20 日～22 日 ホテルニューオータニ長岡 (新潟県長岡市)

- ・Development of prototype to estimate a fault model using real-time GPS data (リアルタイム GPS データを用いた断層モデル推定試作システムの開発): 西村卓也・飛田幹男・今給黎哲郎
- ・Characteristic long-term slow slips in the Bungo channel, southwest Japan (豊後水道の長期的スロースリップ): 小沢慎三郎
- ・Coseismic Deformation of the 2010 Yushu Earthquake from PALSAR Interferometry (PALSAR 干渉画像による 2010 年青海省の地震に伴う地殻変動): 飛田幹男・西村卓也・小林知勝・Ken Xian-Sheng Hao (National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention)
- ・Crustal deformation associated with the 2010 Haiti Earthquake, detected by InSAR analysis using ALOS/PALSAR data (ALOS/PALSAR データを用いた SAR 干渉解析により検出された 2010 年ハイチ地震に伴う地殻変動): 小林知勝・西村卓也・飛田幹男

◇地理情報システム学会第 19 回研究発表大会 平成 22 年 10 月 23 日～24 日 立命館大学衣笠キャンパス (京都府京都市)

- ・つくば市の時空間データセットを用いた交通網と沿線土地利用の時空間解析: 小荒井衛・中埜貴元
- ・航空レーザで把握した植生三次元構造による景観生態学的解析: 小荒井衛・中埜貴元・乙井康成・佐藤浩(地理空間情報部)

◇日本地震学会 2010 年秋季大会 平成 22 年 10 月 27 日～29 日 広島国際会議場 (広島県広島市)

- ・PALSAR 干渉画像による 2010 年青海省の地震に伴う地殻変動: 飛田幹男・西村卓也・小林知勝
- ・GPS データに基づく伊豆背弧拡大速度と伊豆マイクロプレートの運動の推定: 西村卓也
- ・GEONET によるフィリピン海プレート上での断層すべりの検知能力: 水藤尚
- ・数値気象モデルを用いた SAR 干渉解析における大気起因位相遅延量誤差の軽減の試み: 小林知勝・石本正芳・矢来博司(測地観測センター)・飛田幹男
- ・2009-2010 年の豊後水道スロースリップ: 小沢慎三郎

◇日本測地学会第 114 回講演会 平成 22 年 11 月 8 日～10 日 京都大学宇治キャンパス おうばくプラザ きはだホール (京都府宇治市)

- ・数値気象モデルを用いた SAR 干渉解析における大気起因位相遅延量誤差の軽減の試み: 小林知勝・石本正芳・矢来博司(測地観測センター)・飛田幹男

- ・ひずみ集中帯横断（佐渡－阿賀測線）地殻変動観測（序報）：西村卓也・水藤尚・小林知勝・飛田幹男
  - ・GPS 受信機 SNR を用いた土壌水分の評価：宗包浩志・風間卓仁（京都大学）
  - ・GEONET による日本列島周辺のすべり欠損分布の推定：水藤尚
  - ・気象庁メソ数値予報モデルに基づく局所最適化マッピング関数の評価：石本正芳・宗包浩志
  - ・GPS／験潮観測による地殻上下変動と経年的潮位変化について－異なる潮位変化間のコヒーレンス－：黒石裕樹・宗包浩志
- ◇(社)日本リモートセンシング学会 第 49 回（平成 22 年度秋季）学術講演会 平成 22 年 11 月 9 日～10 日 ジェイドガーデンパレス（鹿児島県鹿児島市）
- ・異なる解像度の衛星画像での実体視判読による災害状況把握の可能性：小荒井衛・神谷泉
- ◇2010 年度東京大学空間情報科学研究センター「全国共同利用研究発表大会」 平成 22 年 11 月 11 日～12 日 東京大学空間情報科学研究センター（千葉県柏市）
- ・ALOS/PALSAR 干渉画像による地すべり抽出に関する研究：岡谷隆基・佐藤浩（地理空間情報部）・鈴木啓（測地部）・関口辰夫（地理調査部）・小荒井衛・中埜貴元
  - ・時空間データセットを用いた TX 沿線の土地利用変化の特徴－つくば市 TX 研究学園駅周辺の事例－：小荒井衛・中埜貴元
- ◇シンポジウム「日本列島周辺域に分布するテフラのデータベース整備にむけて」 平成 23 年 1 月 11 日～12 日 東京大学大気海洋研究所講堂（東京大学柏キャンパス）（千葉県柏市）
- ・テフラ GIS や地理空間情報を活用した火山防災研究：小荒井衛
- ◇第 10 回 IVS 技術開発センターシンポジウム 平成 23 年 2 月 23 日（独）情報通信研究機構鹿島宇宙通信センター（茨城県鹿嶋市）
- ・時空情報正当性検証データ取得ユーザ端末の開発：高島和宏・市川隆一（情報通信研究機構）・高橋富士信（横浜国立大学）・大坪俊通（一橋大学）・小山泰弘（情報通信研究機構）・関戸衛（情報通信研究機構）・瀧口博士（情報通信研究機構）・ホビガー トーマス（情報通信研究機構）
- ◇日本地理学会 2011 春期学術大会 平成 23 年 3 月 29 日～4 月 1 日 明治大学（東京都千代田区）
- ・SAR 干渉画像による東北地方の地すべり性変動の抽出：岡谷隆基・佐藤 浩（地理空間情報部）・関口辰夫（地理調査部）・鈴木啓（測地部）・小荒井衛・原哲也（エー・イー・エス）
  - ・航空レーザを用いた知床半島と中国山地における景観生態学図の作成：小荒井衛・乙井康成・中埜貴元・吉田剛司（酪農大学）・山下亜紀郎（筑波大学）・長澤良太（鳥取大学）・日置佳之（鳥取大学）
  - ・新潟県中越地方芋川流域の段丘編年：小荒井衛・岡谷隆基・中埜貴元・小松原琢（産業技術総合研究所）・黒木貴一（福岡教育大学）
  - ・時空間データセットから抽出した土地利用データによる土地利用変遷分析：中埜貴元・小荒井衛